

タカラスタンダード

石油小形給湯機

取扱説明書

〈保証書付〉保証書は裏表紙に印刷されています。

給湯専用

エフディーエス エス エイ エム
FDS-SA472M

エフディーエス エス エイ エフエフケー
FDS-SA472FFK

エフディーエス エス エイ エム
FDS-SA382M

- このたびは、石油小形給湯機をお買あげいただきまことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり正しく使用してください。まちがった取扱いは思わぬ事故や故障の原因になります。
お読みになった後も、取扱説明書・保証書は工事説明書と共に必ず保管してください。

お客様へ

本製品は消費生活用製品安全法（消安法）で指定される特定保守製品です。法定点検を受けるために所有者登録をおこなってください。
(製品に同梱した「所有者票」に記入し投函願います)

もくじ

はじめに

- おもな機能について1
- より快適にお使いいただくために1
- 1.特に注意していただきたいこと1

ご使用の前に

- 2.各部の名称
 - 外観図6
 - リモコン7
- 3.使用前の準備
 - 燃料・給油8
 - 運転開始前の準備と確認9

使用方法

- 4.使用方法
 - お湯・シャワーを使う／運転停止10
 - お風呂にお湯はりをする12
 - 便利な機能
 - チャイルドロックを使う13
 - 各種設定14
 - 凍結予防16
 - 使用上の注意18
 - 長期間使用しないとき18
- 5.安全装置19
- 6.その他の装置19

このようなときは

- 7.日常の点検・お手入れ20
- 8.定期点検、法定点検22
- 9.故障・異常の見分け方と処置方法23
- 10.部品交換のしかた28

その他

- 11.仕様29
- 12.アフターサービス31
- 13.据付け32
- 14.お客様ご相談窓口34
- 保証書裏表紙



おもな機能について



機能	機能説明 (参照ページ)
お湯はりお知らせ運転	設定されたふる湯量をお湯はりするとお知らせします。(→P12)
チャイルドロック	お子さまのいたずら操作や誤操作を防止したいときに使用します。(→P13)


より快適にお使いいただくために

この機器は、給湯量に応じて火力が変化する比例燃焼をおこないますので、深夜など運転音が気になる場合は給湯量を少なめにすると運転音を低減させることができます。

1. 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

禁止	絵表示の意味	指示	絵表示の意味	注意	絵表示の意味
	ガソリン厳禁		電源プラグを抜く		感電注意
	接触禁止		必ずおこなう		高温注意
	分解禁止		アース工事実施		一般的な注意
	一般的な禁止				

1.特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

警告(WARNING)

ガソリン厳禁

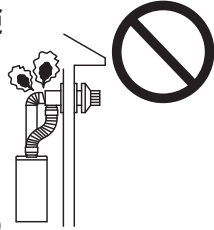
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



給排気筒(管、ホース)はずれ危険

給排気筒(管、ホース)がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

(該当機種:屋内用 FDS-SA472FFK)



給排気筒トップ閉そく危険

給排気筒トップの周りが雪や、つららでふさがれたままで使用しないでください。

ふさがれているときは、除雪してください。

閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

(該当機種:屋内用 FDS-SA472FFK)



高温注意

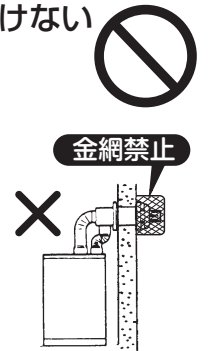
- シャワーを使用する場合、手で湯温を確かめてから使用してください。また、シャワーを使用中は使用者以外の方が湯温を変更しないでください。やけどのおそれがあります。
- 入浴するときは、手で湯温を確かめてください。やけどのおそれがあります。



給排気筒トップには金網などは付けない

給排気筒トップには、虫よけのための金網などは付けないでください。給排気の妨げになり、異常燃焼を起こし排ガスが室内に漏れる可能性があります。危険です。

(該当機種:屋内用 FDS-SA472FFK)



外付け装置による遠隔操作厳禁

スマートフォン、IT機器を使って石油給湯機のスイッチを操作する外付け装置(※)は安全性を確認できないため、使用しないでください。

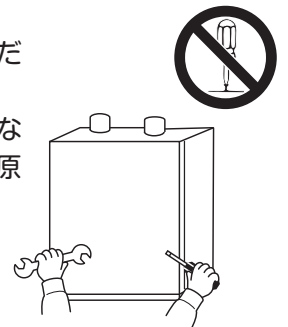
※操作スイッチ付近に設置し、インターネット通信等を介して、操作スイッチを「入/切」できる装置。



改造・分解禁止

改造・分解して使用しないでください。

改造・分解は、機器の安全性を損なうため、火災など思わぬ事故の原因になります。



注意(CAUTION)

高温部接触禁止

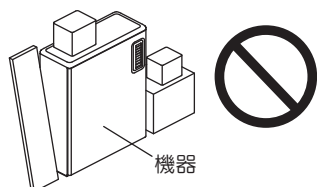
燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、排気口(吹出口)、枠上部に手などふれないでください。

やけどのおそれがあります。



可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。



電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。

また、電源コードを持って引き抜かないでください。

火災や感電の原因になります。



アースについて

専用のアース(線)を必ず取り付けてください。

感電のおそれがあります。アース(線)は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース(線)には絶対に接続しないでください。



1.特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

⚠️注意(CAUTION)

はじめに

電源コードを切断して延長しない

絶対に電源コードを切断して延長しないでください。
火災や感電の原因になります。



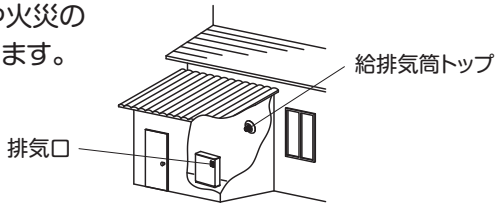
異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。
処置をせず何度もしリセットを繰り返すと、火災や事故の原因になります。
「故障・異常の見分け方と処置方法」(→23ページ)に従って処置してください。



囲い禁止

機器や排気口(吹出口)、給排気筒トップを波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。



不良灯油使用禁止

灯油は必ず火気・雨水・ゴミ・高温・直射日光をさけて保管してください。
変質灯油(ひと夏持ち越した灯油)、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油)などの不良灯油を使用しないでください。機器の故障の原因になります。



ゴム製送油管の屋外使用禁止

- **⚠️注意** ゴム製送油管を屋外では使用しないでください。
- ゴム製送油管は紫外線にあたるとひび割れを生じて油漏れの原因になります。屋内でもできるだけ日光にあたらない場所を選んでください。
- ゴム製送油管はきつく曲げたり、丸めたりしないようにしてください。



ゴム製送油管の点検・交換

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があった場合は交換してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがなくても2~3年に1度は新しいものに交換されることをおすすめします。交換しないとひび割れを生じて油漏れにつながり、火災のおそれがあります。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。



電源プラグのお手入れをする

ときどきリモコンの運転スイッチを「切」にしてから電源プラグを抜き、ほこり(および金属物)を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。



ぬれた手でさわらない

電源プラグをぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。



長期間使用しないときは機器内の水抜きをおこない、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、機器内の水抜きをおこない、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜いて停止させない

電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因となります。
必ずリモコンの運転スイッチを「切」にして停止してください。



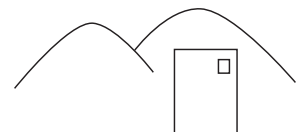
電源コードは束ねたまま使用しない

電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。火災や発熱の原因になります。



標高が1,500mを超える高地では使用しない

(空気の濃度が薄い)
ため、燃焼に必要な
空気が不足します。



送油経路の油漏れ確認

油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないか確認してください。
火災の原因になります。



1.特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

⚠️注意(CAUTION)

純正部品以外は使用しない

事故防止のため純正部品以外は使用しないでください。



運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出さないでください。

お湯を使用するときは、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと機器内に結露が発生し、不完全燃焼や電気部品が損傷する原因になる場合があります。

シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。



動植物に直接排ガスを当てない

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。



積雪時は給気口・排気口の点検と除雪をする

雪により給気口・排気口がふさがれると、機器の故障の原因になります。機器の周囲の除雪をしてください。



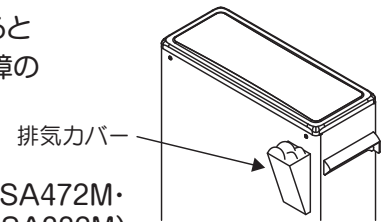
【排気カバーを取り付けている場合】

排気カバーに積もった雪は除雪する

排気カバーに雪が積もると不完全燃焼や機器の故障の原因になります。

除雪をしてください。

(該当機種:屋外用 FDS-SA472M・FDS-SA382M)



高圧洗浄機などで水洗いしない

漏電による火災や感電の原因になることがあります。



お願い(NOTICE)

凍結に注意

冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し、水漏れや故障の原因になります。

凍結予防に必要な処置をしてください。

使用用途について

給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。

排ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシ・動植物などや、塗装された壁などに当たらないように設置してください。増築・改築時も同様に注意してください。

変色したり、ガラスが割れたり、アルミサッシが腐食することがあります。

塀などを新たに設置するときは、機器の点検・修理に必要なスペースを確保して、空気がよどまないようにしてください。

塀などと機器との間に十分なスペースがないと、点検・修理の際に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気がよどむと、排ガスが家の中に入ったり、不完全燃焼を起こすおそれがあります。(機器の修理・点検に必要なスペースについては、工事説明書参照または販売店かお客様ご相談窓口(→34ページ)に確認してください)

温泉水・井戸水で使わない

上水道専用です。水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

1.特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

お願い (NOTICE)

業務用の用途では使用しない

この機器は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。
この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、水抜きをおこなってください。(→17ページ)

リモコンのお手入れには、洗剤およびベンジン、シンナー、ガラスクリーナー、みがき粉などは使用しないでください。

変色や変形、キズがつく場合があります。(→21ページ)

台所リモコンに水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意してください。
故障の原因になります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。また、機器の故障の原因にもなります。

(該当機種:FDS-SA382M)

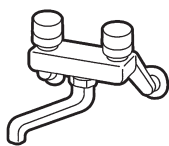
電気器具の近くに設置しない

テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。

離して設置してください。

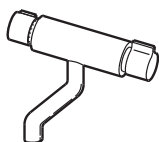
混合水栓について

混合水栓は逆止弁付で通水抵抗の小さいもの、またシャワーヘッドは圧力損失の小さいものを使用してください。
(出湯量が少なくなる可能性があります)



やけど防止のためサーモ付混合水栓(通水抵抗の小さいもの)の使用をおすすめします。

リモコンの設定温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。



断水のときは

給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

油切れに注意

油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、部品の寿命が短くなります。

雷に注意

雷が発生したときは、雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。
すみやかに運転を停止後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

子どものいたずらに注意

リモコンは子どもがいたずらしないように注意してください。

急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。
必要に応じてチャイルドロックを使用してください。

(→13ページ)

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

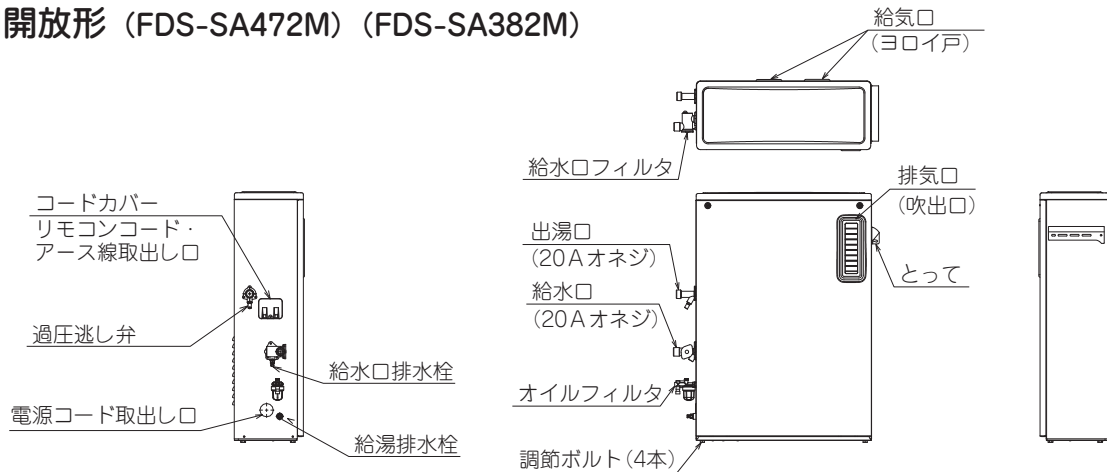
使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより、水質が変わることがあります。

結露水の落下について

給排気筒トップから結露水が落下することがあります。
結露水が落下する周辺には物を置かないでください。
(該当機種:屋内用 FDS-SA472FFK)

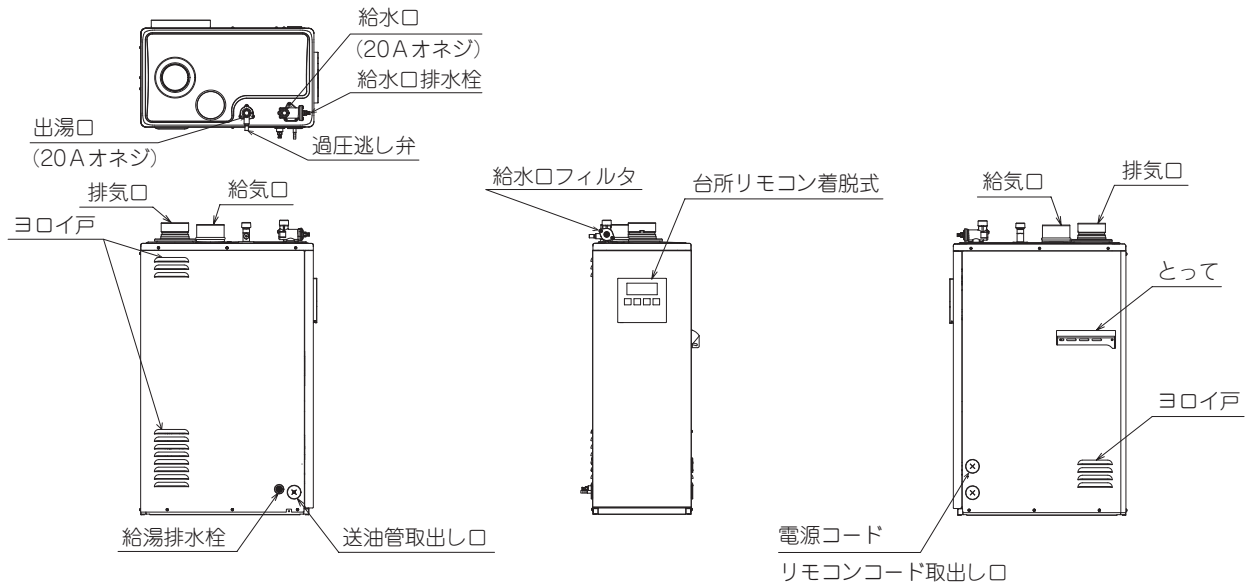
2.各部の名称 (外觀図)

■屋外用開放形 (FDS-SA472M) (FDS-SA382M)



■屋内用密閉式強制給排気形 (FDS-SA472FFK)

オイルフィルタは機器内にあります。



2.各部の名称 (リモコン)

台所リモコン


表示部

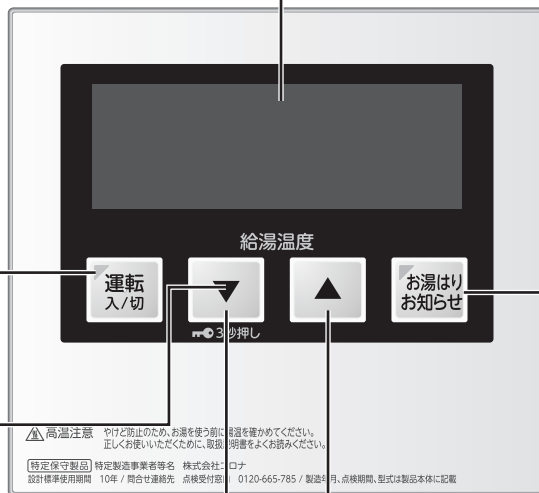
- 節電のため、運転スイッチ「入」の場合に約5分間給湯運転またはスイッチ操作をおこなわないと表示部が消灯します。給湯温度設定が60℃以上の設定時は消灯しません。運転スイッチ「切」の場合は、表示部を消灯します。

運転スイッチ/ランプ(緑)

- 機器の運転を「入」「切」します。(→10ページ)

チャイルドロック

-  を3秒長押しするとチャイルドロックを設定します。(→13ページ)



お湯はりお知らせ スイッチ/ランプ(橙)

- 設定したふる湯量お湯をはりするとお知らせします。(→12ページ)

給湯温度スイッチ

- 給湯温度を設定します。(→10ページ)

リモコンに保護フィルムが貼ってある場合があります。必要に応じてはがしてください。

表示部

下記の表示画面は説明のために全表示してあります。実際の表示は運転時の状況により異なります。

カギマーク

- チャイルドロック中に表示します。

燃焼マーク

- 燃焼中に表示します。

高温表示

- 給湯温度設定が60℃以上のときに表示します。

エラー表示

- エラー発生時に表示します。







給湯温度表示

- 給湯温度設定を表示します。

3.使用前の準備

燃 料

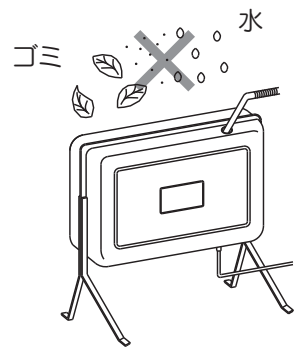
燃料は必ず灯油（JIS1号灯油）を使用してください。

 警告	ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。	
 注意	灯油は必ず火気・雨水・ゴミ・高温・直射日光をさけて保管してください。 変質灯油（ひと夏持ち越した灯油）、不純灯油（灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油）などの不良灯油を使用しないでください。機器の故障の原因になります。	

給 油

■給油の際の注意

- 必ず消火を確認してからおこなってください。
- 水やゴミが入らないように特に注意してください。
水やゴミなどは燃焼不良や、バーナの寿命低下などの原因になります。
- 給油口ふたは、確実に締めてください。
- こぼれた灯油はよくふきとってください。
- 油タンクに水が混入している場合は、必ず水抜きをおこなってください。
- 油タンクを空にしないように早めに給油してください。
油タンクが空になると送油経路内の空気抜きが必要となります。

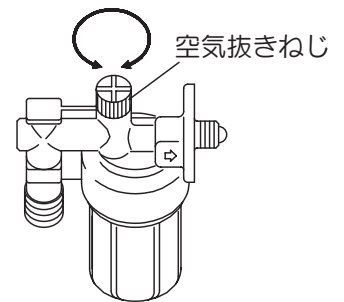


■燃料切れになって給油したときの対処方法

- 送油経路内の空気抜きをしてください。

手順

1. 油タンクの送油バルブを開きます。
2. オイルフィルタの空気抜きねじをゆるめて送油経路内の空気を抜きます。
3. オイルフィルタの空気抜きねじ部から灯油が出てきたら、空気抜きねじを元通り締め付けてください。
4. あふれた灯油はきれいにふきとってください。









お願い

空気抜きねじはゆるめるだけではささないでください。

- 空気抜きねじをはずすとねじ部のOリングを紛失したり、きずをつけると油漏れとなり、使用できなくなりますので取扱いには十分注意してください。
- オイルフィルタから灯油があふれるため、容器や布などで灯油を受けてください。

3.使用前の準備

運転開始前の準備と確認

⚠️ 警告	給排気筒(管、ホース)がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。 (該当機種: 屋内用 FDS-SA472FFK) 
	給排気筒トップの周りが雪や、つららでふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。 (該当機種: 屋内用 FDS-SA472FFK) 
⚠️ 注意	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。 
	機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。 
	機器や排気口(吹出口)、給排気筒トップを波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。 
	雪により給気口・排気口がふさがれると、機器の故障の原因になります。 機器の周囲の除雪をしてください。(該当機種: 屋外用 FDS-SA472M・FDS-SA382M) 

■給水

- 給水口排水栓、過圧逃し弁が閉まっていることを確認し、給水元栓を開いてください。
- 給湯栓のお湯側を開けて蛇口から水が出ることを確認したら給湯栓を閉めてください。

■水漏れの確認

給水口排水栓、過圧逃し弁および給水配管、給湯配管から水漏れがないことを確認してください。

■送油経路の油漏れの確認

油タンク、送油管の接合部などから油漏れがないことを確認してください。

油漏れのあるときは使用を中止し、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■電気配線の確認

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやコンセントは使用しないでください。

- 電源は必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードを使用しないでください。
- 他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

■機器の周囲確認

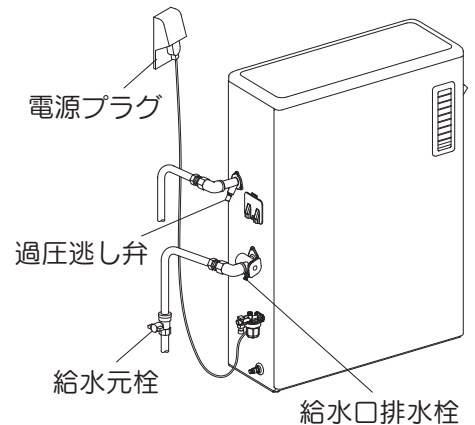
- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
- 機器や排気口(吹出口)、給排気筒トップを波板などで囲わないでください。

■給排気筒の確認(屋内設置機器 FDS-SA472FFK)

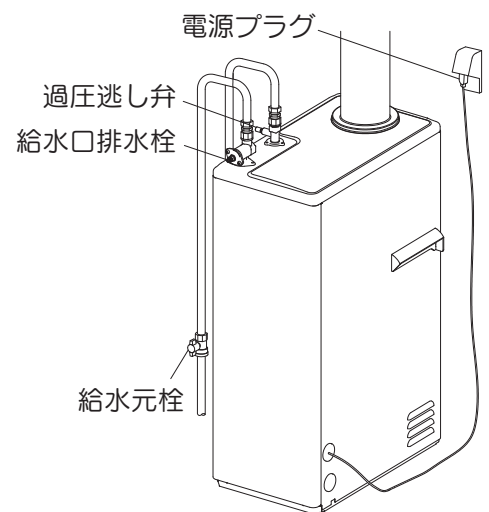
- 給排気筒(管、ホース)がはずれたままで使用しないでください。
- 給排気筒トップの周りが雪や、つららでふさがれたままで使用しないでください。

■給排気口の確認(屋外設置機器 FDS-SA472M・FDS-SA382M)

雪により給気口、排気口がふさがれると、機器の故障の原因になります。



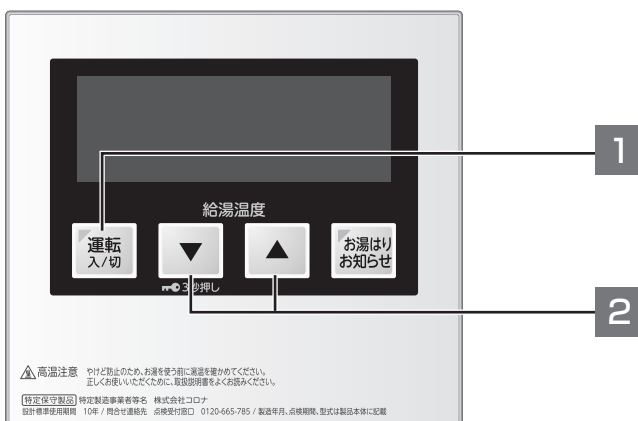
FDS-SA472M
FDS-SA382M



FDS-SA472FFK

4.使用方法〈お湯・シャワーを使う／運転停止〉

台所リモコン




■ お湯・シャワーを使う（工場出荷時は40℃に設定されています）

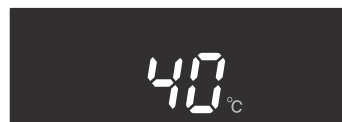
台所リモコン表示

1 を押す

- 運転ランプ（緑）点灯
- 給湯温度を表示します。

給湯栓を開く

- 燃烧中は （燃焼マーク）が点灯します。



- 使いはじめは配管内の水が出るため、お湯になるまでしばらく時間がかかります。

■ お湯の温度を調節する（工場出荷時は40℃に設定されています）

お湯の温度の設定範囲と高温表示

37℃～50℃（1℃刻みで設定）	55℃	60℃	65℃	70℃	75℃
------------------	-----	------------	-----	-----	-----

高温 点灯

2 を押して給湯温度を調節する

60℃以上に設定すると **高温** が点灯します。



- 給湯温度は給湯機の出口温度です。給湯配管の長さなどの条件により実際の温度とは異なりますので目安としてください。

■ 運転停止

1 を押す

- 運転ランプ（緑）と表示が消灯します。

△ 注意

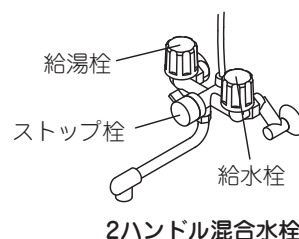
- 太陽熱温水器に接続している場合など給水温度が50℃以上のとき、または給湯温度設定より給水温度が高い場合は燃焼しません。
- 太陽熱温水器に接続している場合は、給湯温度が変動することがあります。やけど防止のためサーモ付混合水栓の使用をおすすめします。

4.使用方法〈お湯・シャワーを使う／運転停止〉

■シャワーの使い方（必ず湯温を確認してください）

- サーモ付混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定をシャワー温度より10℃以上高く設定し、サーモ付混合水栓の温度設定を40℃前後のシャワー温度に合わせてご使用ください。リモコンの給湯温度を低い温度に設定するとご希望の温度にならないことがあります。
- サーモ付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
- 右図のような2ハンドル混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定をシャワー温度より10℃以上高く設定し、混合水栓の給水栓を少し開いてから給湯栓を少しずつ開き、適温にしてお使いください。
シャワー使用后、再使用するときは、はじめ給湯栓を少し絞りぎみにし、湯温が安定したらゆっくりと給湯量を増やしてください。

※給湯温度を50℃以上に設定することでシャワー温度がより安定し、快適なシャワーをご使用いただけますが、小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、リモコンの給湯温度設定を44℃～46℃に設定し、お湯と水を混合してご使用ください。



- **△注意** シャワーを使用する場合、手で湯温を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- 他の給湯栓、給水栓が同時使用された場合は、一瞬熱いお湯や、ぬるめのお湯が出たりすることがあります。必ず湯温を確認してから使用してください。
- シャワー使用直後の再使用時や、湯量を急に絞ったときには一瞬熱いお湯や、ぬるめのお湯が出ることがありますので注意してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

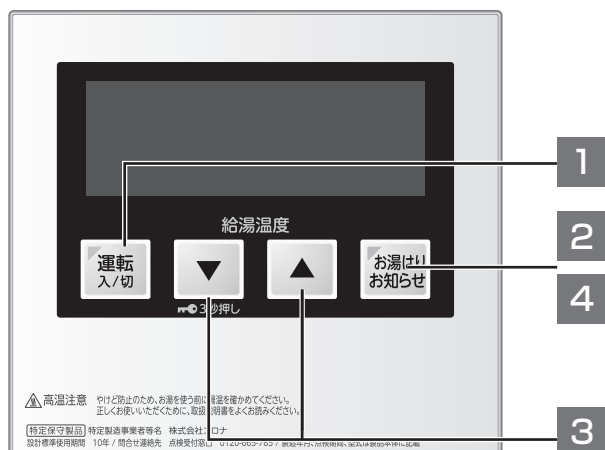
■給湯量と給湯温度の早見表

型 式	給湯温度	給湯量 (L/分、計算値)		
		水 温		
		5℃ (冬)	15℃ (春・秋)	25℃ (夏)
FDS-SA472M FDS-SA472FFK	40℃	17	※22	※22
	50℃	13	※17	※18
	60℃	11	※13	※14
FDS-SA382M	40℃	※12	※12	※12
	50℃	11	※12	※12
	60℃	9	11	※12

- 配管や給湯栓により給湯量は異なりますので目安としてください。
- 給湯量は機器から出湯できる最大給湯量を記載しています。
※本機器の最大給湯量はFDS-SA472M・FDS-SA472FFKで22L/分、FDS-SA382Mで12L/分となりますが、給湯温度や水温により、機器保護のため給湯量を制限する場合があります。
- 給湯温度は給湯機の出口温度です。給湯配管の長さや外気温などにより、給湯栓からの温度とは必ずしも一致しません。目安としてください。

4.使用方法 〈お風呂にお湯はりをする〉

台所リモコン

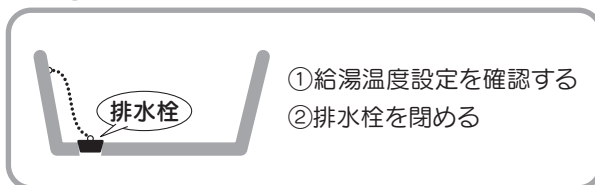


■ お湯はりお知らせ運転

- 設定されたふろ湯量をお湯はりするとブザーでお知らせします。
給湯栓の閉め忘れ防止の目安としてお使いください。
お湯は自動的に止まりません。

準備

お風呂を確認する



■お風呂の湯量を設定する

設定範囲	50~400L (10L刻み)
工場出荷時	200L

- 1 **運転入/切** を押す
●運転ランプ（緑）点灯
- 2 **お湯はりお知らせ** を3秒長押しする
- 3 **給湯温度** の **▼** **▲** を押してお風呂の湯量を設定する
●希望のお風呂の湯量を選択して約5秒待つ。

■お湯はりお知らせ運転をする

- 4 **お湯はりお知らせ** を押す
●お湯はりお知らせランプ（橙）点滅
お風呂の給湯栓（蛇口）を開ける
●設定されたふろ湯量をお湯はりするとブザーでお知らせします。
お風呂の給湯栓（蛇口）を閉める
●お湯はりお知らせランプ（橙）が消灯します。

台所リモコン表示



使用方法

お知らせ

- お湯はりお知らせ運転は給湯温度設定・使用状態が変わるとお湯はり量が変わることがあります。
- お湯はり中に他の給湯栓やシャワーなどを使うと、その量だけお湯はり量が少なくなります。
- お湯はりお知らせ運転を使用する場合は、混合水栓などで水を混ぜずにお湯はりしてください。
水を混ぜるとその分だけお湯はり量が多くなります。
- **お湯はりお知らせ** を押してから蛇口を開けない時間が5分間継続すると、お湯はりお知らせ運転を終了します。
- 給湯温度設定が48℃以上の場合には、48℃でお湯はりします。

浴そうへのお湯はりを途中で停止するとき

給湯栓を閉めて **お湯はりお知らせ** を押す

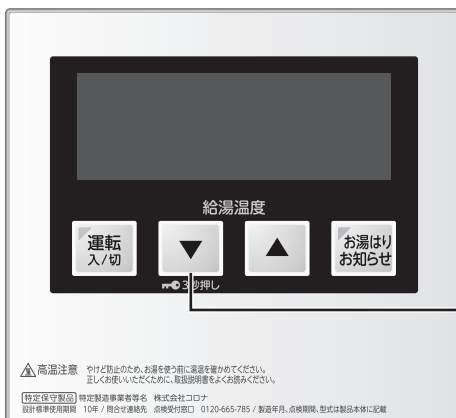
- お湯はりお知らせランプ（橙）が消灯し、お湯はりお知らせ運転を終了します。

4.使用方法－便利な機能〈チャイルドロックを使う〉

■ チャイルドロック

- お子様などによるいたずら操作の防止や誤操作を防止したいときに使用します。
- 運転スイッチの入/切に関係なく設定できます。

台所リモコン



1

給湯温度
▼ ▲ の ▼ を3秒長押しする

- (カギマーク) が点灯
- 操作したリモコンのみチャイルドロックが設定されます。

台所リモコン表示



お知らせ

- チャイルドロック中にスイッチ操作をすると受け付け拒否音が鳴ります。
- チャイルドロック中でも運転スイッチの入/切と呼出しは操作をすることができます。
- チャイルドロック中でも、お湯はりお知らせ運転を停止できます。

「チャイルドロック」を解除するとき

給湯温度
▼ ▲ の ▼ を3秒長押しする

- (カギマーク) が消灯し、操作したリモコンのチャイルドロックを解除します。

4.使用方法〈各種設定〉

■ 各種の設定ができます

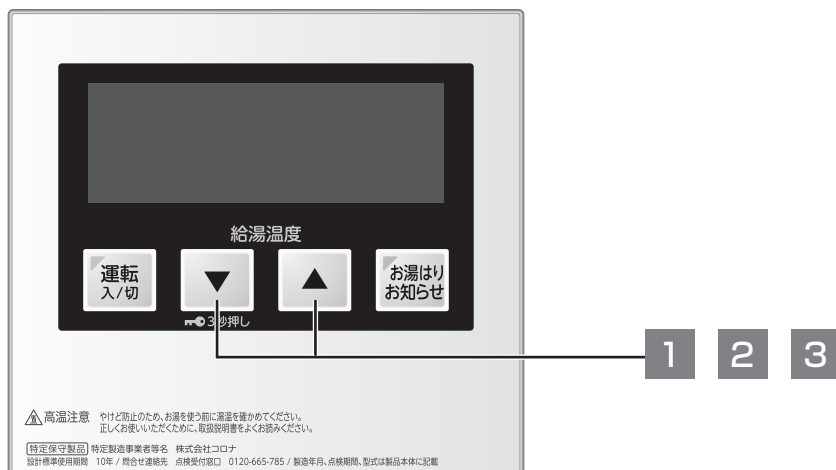
工場出荷時の設定は、 になっています。

設 定 一 覧

メニュー No.	設定項目	設定内容	工場出荷時の設定 および設定範囲	操作方法
10	操作音設定	リモコン操作音の有無を設定します。 操作音設定を「oF：なし」に設定した場合でも湯はり完了報知音と呼出スイッチによる呼出音はお知らせします。	on：あり oF：なし	P15
13	表示消灯設定	リモコンの表示消灯の有無を設定します。 〔表示消灯は、節電のため運転スイッチ「入」の場合に約5分間給湯運転またはスイッチ操作をおこなわないと表示部が消灯する機能です。給湯温度設定が60℃以上の設定時は消灯しません。運転スイッチ「切」の場合は、表示部を消灯します。〕 表示消灯設定を「oF：しない」に設定した場合、運転スイッチ「入」の場合のみ表示部を点灯します。運転スイッチ「切」では表示部を点灯しません。	on：する oF：しない	
99	工場出荷データ設定	各種設定をすべて工場出荷時の状態に戻します。	on：する oF：しない	

4.使用方法〈各種設定〉

- 台所リモコンで各種設定をおこないます。(運転スイッチ「切」の状態を設定してください)



■台所リモコンの表示消灯設定を変更する場合で説明します。(他の設定も同じ手順です)

準備

- ①運転スイッチが「切」の状態であることを確認してください。
- ②設定一覧より台所リモコンの「表示消灯設定」を確認してください。
- ③「メニューNo.」の確認と「設定範囲」を決めてください。

使用方法

1 **給湯温度**
▼ ▲ を同時に3秒長押しする

3秒押し

- 「10」が点滅します。

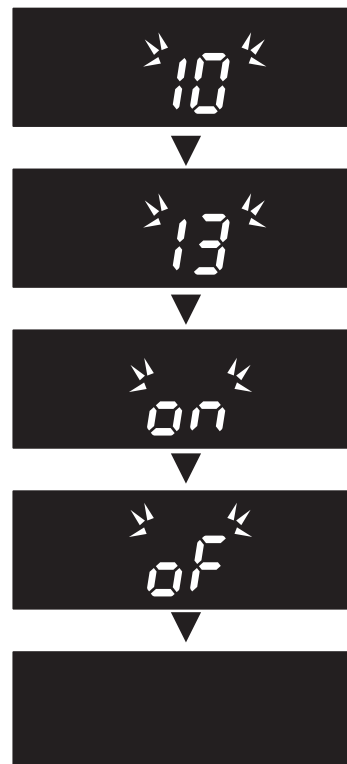
2 ▼ を押してメニューNo.13を選択する

- 「13」が点滅します。
- 3秒後に「on」または「oF」の表示に切り替わります。(工場出荷時: 「on」)

3 ▲ を押して設定範囲を選択する

- 「on」または「oF」を選択します。
- 10秒間、操作をしないと決定し、画面表示が消灯します。

台所リモコン表示



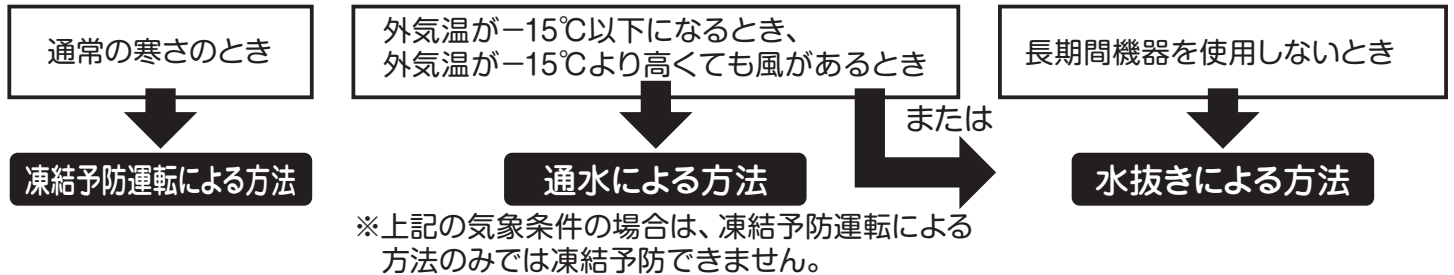
4.使用方法〈凍結予防〉

お願い

- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結して破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、以下の必要な処置をおとりください。
- 凍結しているときは配管内の水が溶けてから使用してください。そのまま使用すると機器が破損するおそれがあります。
- 凍結による機器の修理は、保証期間内でも保証の対象外となります。

凍結時の症状

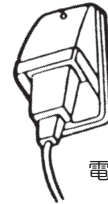
- 給湯栓から水が出ない、水の出が悪い…給湯配管の凍結



凍結予防運転による方法

凍結予防ヒータで機器内の凍結予防をおこないます。

- ①電源プラグはコンセントから抜かないでください。
- ②リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- 凍結するおそれのある外気温になると、機器内に組み込まれたヒータで自動的に機器内の凍結予防をおこないます。



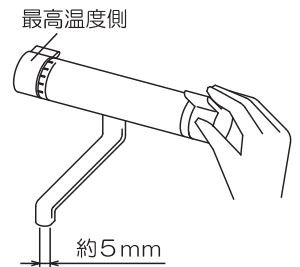
電源プラグは抜かない

この方法は、機器内の凍結予防はできますが、機器外の給水・給湯配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。また、機器との接続部についても、露出していると凍結のおそれがありますので、必ず保温してください。

通水による方法

凍結予防ヒータで機器内の凍結予防 + 通水操作によって凍結予防をおこないます。

- ①上記の **凍結予防運転による方法** をおこないます。
電源プラグはコンセントから抜かないでください。
- ②リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ③給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にします。給湯側を開き、1分間に約400ccの水（太さ約5mm）を流したままにします。
- 水の流量が不安定なことがありますので、約30分後に水の流量をもう一度確認してください。



この方法は機器内だけでなく、機器外の給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできますが、機器との接続部については露出していると凍結のおそれがありますので、必ず保温してください。

△注意

- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけどのおそれがあります。

4.使用方法〈凍結予防〉

水抜きによる方法

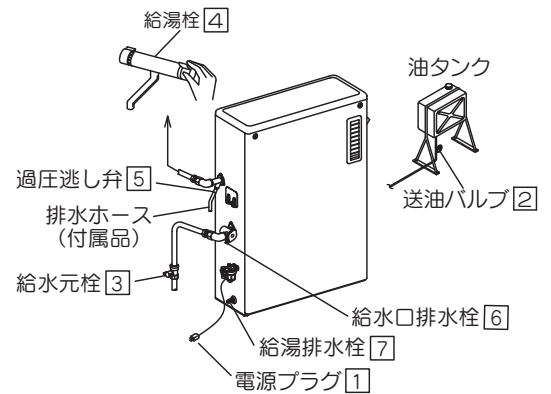
機器内配管の水抜きをおこない、凍結予防をおこないます。

⚠注意

- 機器の使用直後は機器内のお湯が高温になっていますので、必ず機器が冷えてから水抜きをおこなってください。やけどのおそれがあります。
- 過圧逃し弁、排水栓をはずすと機器内の水が出ます。設置場所によっては容器で受けてください。
- はずした部品はなくさないでください。

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ②電源プラグ①をコンセントから抜きます。
- ③油タンクの送油バルブ②を閉めます。
- ④給水元栓③を閉めます。
- ⑤すべての給湯栓④を開きます。
 - 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にします。
- ⑥過圧逃し弁⑤、給水口排水栓⑥、給湯排水栓⑦をはずします。
 - 排水が一旦止まった後、配管内に残った水が排水される場合があります。はずした排水栓等は再使用時まで、必ずはずしたまま保管してください。

FDS-SA472M
FDS-SA382M



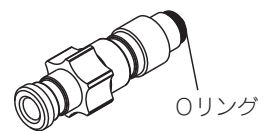
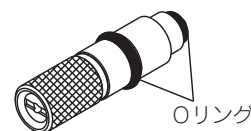
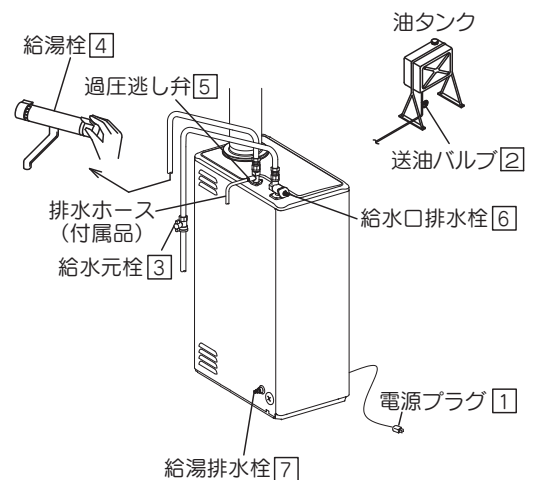
水抜き後、再使用するとき

⚠注意

- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけどのおそれがあります。

- ①すべての給湯栓④を閉めます。
- ②はずした過圧逃し弁⑤、給水口排水栓⑥、給湯排水栓⑦を取り付けます。
 - 右図を参照して、取り付け場所を間違えないようにしてください。間違えると機器が正常に作動せず故障の原因となります。
 - 取り付け部が凍結している場合は、お湯をかけて解冻してから確実に取り付けてください。
- ③給水元栓③を開き、すべての給湯栓④から水が出ることを確認します。
- ④油タンクの送油バルブ②を開きます。
- ⑤電源プラグ①をコンセントに差し込みます。

FDS-SA472FFK



4.使用方法〈使用上の注意〉〈長期間使用しないとき〉

使用上の注意

1. 機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用または調理に使用しないでください。
使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより、水質が変わることがあります。
2. 冬期の入浴について
冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響（ヒートショック）によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めるなどしてください。浴室を暖めるには、シャワーでお湯を流したり、浴そうにふたをしないでお湯はりする方法もあります。
3. 機具の点火、燃焼時に周囲のテレビ・ラジオなどにノイズ（雑音）が入る場合がありますが、機具の異常ではありません。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは機器の水抜きをおこなってください。
17ページの **水抜きによる方法** を参照してください。

5.安全装置

安全装置の名称	作動原因と作動結果	処置方法
対震自動消火装置	地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けたとき作動 ▼ 運転停止	●地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒のはずれなど異常がないことを確認してからリモコンの運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。
点火安全装置 燃焼制御装置	燃焼が完全に開始されないとき、または万一炎が立消えになったときに炎検知器（フレイムアイ）が検知 ▼ 運転停止	●油切れのときは8ページの「給油」の項にしたがって給油してください。 ●油切れ以外の場合は運転スイッチを「切」にして、お買いあげの販売店に連絡してください。
停電安全装置	停電したときや電源プラグが抜けたとき作動 ▼ 運転停止	●停電復帰後は、運転を開始します。使用しないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。 ●長い停電のときは、停電復帰後に運転ランプが点滅しますので、運転スイッチを「入」にしてください。

6.その他の装置

装置の名称	作動原因と作動結果	処置方法
送風機回転検知	送風機の回転異常があったとき作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
異常過熱防止装置 温度ヒューズ	サーミスタや本体基板の故障、空だきなどにより熱交換器が異常過熱したとき作動 ▼ 運転停止	●電源プラグを抜き、お買いあげの販売店に連絡してください。
凍結予防装置	機器内が約5℃以下になったとき作動 ▼ 凍結予防ヒータが機器内を保温	●機器を運転したときや凍結のおそれなくなると自動的に停止します。
電流ヒューズ	内部配線のショートなどで過電流が流れたときにヒューズが切れて作動 ▼ 運転停止	●電源プラグを抜き、お買いあげの販売店に連絡してください。
過圧逃し弁	熱交換器配管内の圧力が上昇すると作動 ▼ 圧力を外部に逃がして熱交換器を保護	●給湯栓を閉めたときに少量の水が出ることがありますが、故障ではありません。連続して水が出る場合はお買いあげの販売店に連絡してください。

7. 日常の点検・お手入れ

△注意

- リモコンの運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてからおこなってください。やけどのおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 手袋などの保護具を着用し、金属部に十分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 電気部品は絶対に分解しないでください。
- 異常があるときはお買いあげの販売店にご連絡ください。

1. 周囲の可燃物（日常）

- △注意 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

2. ほこり（日常）

- 機器の上や周囲のほこりは燃焼不良の原因となりますので常に清掃してください。清掃の際はけがをしないように注意してください。
- 電源プラグにほこりがたまっている場合は、除去してください。

3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常）

- 送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか点検してください。油漏れのあるときは、使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。

4. ゴム製送油管の点検、交換の目安

- △注意 ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。
- 屋内でゴム製送油管を使用しているときは、膨潤、収縮、変質、変形、ひび割れがないか確認してください。ひび割れは見ただけでは見つけにくいので手で少し曲げて確認し、ひび割れなどの異常があるときは交換してください。交換の目安は、2～3年に一度です。

5. 油タンク（水抜きを含む）（1カ月に1回以上）

- 油タンク内には、空気中の水分が結露して水がたまります。多くたまるとバーナの方へ流れ出て燃焼不良の原因になります。油タンク内に水がたまっていないか確認し、たまっているときは油タンクの水抜きドレン口から水抜きをしてください。

6. 給排気筒の接続部のゆるみおよびトップの周囲（日常）

（該当機種：屋内用 FDS-SA472FFK）

- △警告 給排気筒（管、ホース）がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- △警告 給排気筒トップの周りが雪や、つららでふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 給排気筒トップの周囲に燃えやすいものがないか、確認してください。

7. 水漏れ（日常）

- 機器本体および配管・継手部から水漏れがないか、確認してください。

8. 銅パイプ（送油管）の点検、交換の目安

- 銅パイプ（送油管）は年1回以上点検し、変形、ひび割れがないか確認し、欠点のあるときは交換してください。

7. 日常の点検・お手入れ

9. オイルフィルタの点検（1年に1回以上）

- オイルフィルタに水やゴミがたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

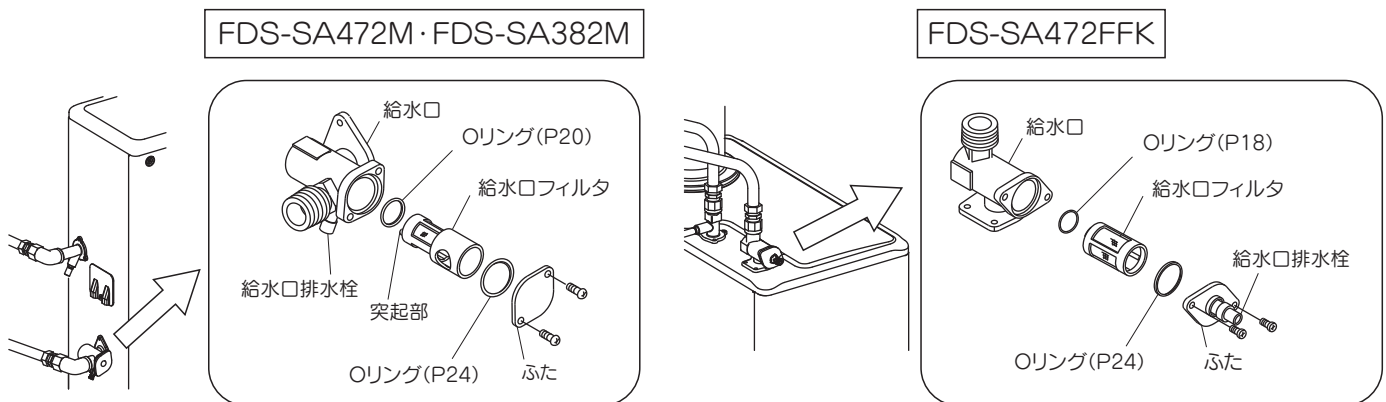
10. アース（日常）

- アース線がアース棒と機器の間で切れていないか、アース棒は十分に地中に埋め込まれているかときどき確認してください。不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

11. 給水口フィルタの掃除（3カ月に1回以上）

- 給水口フィルタにゴミがたまっていないか確認してください。
 - ① 給水元栓を閉めます。
 - ② 給湯栓を開けます。
 - ③ 出湯口の過圧逃し弁をはずし、給水口排水栓をゆるめて排水した後、給水口フィルタをはずしゴミを洗い流してください。
- 過圧逃し弁および給水口排水栓からの排水を設置場所によっては2L程度の容器で受けてください。
 - ④ 下図のように、各部品を元通りに取り付けてください。

FDS-SA472M・FDS-SA382M は、給水口フィルタの突起部を給水口の内部壁面にあるへこみ部に合わせ（突起部を給水口の給水配管側にする）給水口の中に差し込んでください。突起部がへこみ部に入り込まないと、給水口フィルタが給水口の中に完全に入らず水漏れの原因となります。



12. リモコンのお手入れについて

- リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って軽く拭き取ってください。
- リモコンのお手入れには、洗剤およびベンジン、シンナー、みがき粉、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。変色や変形、キズがつく場合があります。
- リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。
- リモコンは必要以上に強く押しったりしないでください。

13. 排気口（吹出口）、給排気筒トップの周囲（日常）

- 排気口（吹出口）、給排気筒トップ付近には囲いなどはしないでください。排ガスが滞留し、故障の原因になります。

8. 定期点検、法定点検

定期点検（有料）

■定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度、定期点検(有料)を受けることをおすすめします。

点検はお買いあげの販売店または、修理資格者[一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などにご相談ください。

法定点検（有料）

■法定点検について

- 本製品は消費生活用製品安全法により、点検期間中に法定点検（有料）を受けていただくことが製品の所有者の責務として求められています。（消安法第32条の14）
- 本製品の設計標準使用期間10年の前後1年間を法定点検時期と設定しています。所有者登録情報に基づき法定点検の通知を送付しておりますので同梱の「所有者票」に必要事項を記入のうえ、返信はがきを送付してください。
- 本製品は10年相当ご使用されると点検時期お知らせ表示をします。（→ 27 ページ）
- 詳しくは同梱のちらし「お客様へ 大切なお知らせです。必ずお読みください。」をご覧ください。

9.故障・異常の見分け方と処置方法〈故障・異常かなと思ったら〉

使用中に異常があるときの点検・処置方法

- 原因のわからないときや処置のむずかしいときは、機器の使用を中止し、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口(→34ページ)にご連絡ください。

現 象	原 因	処 置 方 法	
運 転 開 始	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。	
	電源の元スイッチ(ブレーカー)が「切」になっている。	電源の元スイッチを「入」にする。	
	停電している。	通電するまで待つ。	
	運転ランプは点灯するが、給湯栓を開いてもお湯が出てこない。(点火しない)	給水元栓・給湯栓のしぼりすぎで給湯量が少ない。	給水元栓・給湯栓を開き、給湯量を増やす。
	「エラー4」表示してお湯が出てこない。(点火しない)	油タンクの送油バルブが閉まっている。	油タンクの送油バルブを開き、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
		油切れしている。	油タンクに給油し、送油経路内の空気抜き(→8ページ)をしたのち、運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
		油配管接続部から空気を吸っている。	販売店に連絡してください。
	「エラー2」表示する。	「対震自動消火装置の作動」 地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けた。	地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒のはずれなどの異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にする。
全くお湯(水)が出ない。	給水元栓が閉まっている。	給水元栓を全開にする。	
燃 焼 中	高温のお湯が出ない。 低温のお湯が出ない。	給湯温度設定が適切でない。	給湯温度を再設定する。 (→10ページ)
	燃烧音が異常。	販売店に連絡してください。	⚠警告 ●このままご使用を続けると大変危険ですので、使用を中止し販売店に連絡してください。
	ススを出して燃える。		
	油漏れしている。		
	給排気筒がはずれている。 (該当機種:屋内用FDS-SA472FFK)		
	水漏れしている。	販売店に連絡してください。	
アース線が切れている。 アースがされていない。	⚠警告 ●このままご使用を続けると感電のおそれがありますので、使用を中止し販売店に連絡してください。		

このようなききは

9.故障・異常の見分け方と処置方法〈故障・異常かなと思ったら〉

こんなときは故障ではありません

■給湯に関係すること

こんな現象のとき	現象の説明と対処方法
給湯栓をしぼりすぎると運転しない	この機器は給湯栓を極端にしぼりすぎるとバーナが着火しないことがあります。給湯栓をさらに開いてください。
2カ所同時に給湯すると給湯温度や給湯量が不安定になる	給湯配管の方法、給湯栓の開き具合によって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なり、給湯温度が変動することがあります。特にシャワーを使用中に他の給湯栓を同時使用するときは湯温や湯量の変動に注意してください。
給湯栓開閉時に湯温が変動する	給湯栓を閉じて再び開いたときはぬるくなったり、あつくなったりすることがあります。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない	機器から給湯栓まで距離があるため、お湯が出るまで少し時間がかかります。
給湯栓を開くとお湯の量が増える	給湯栓を開いた直後にお湯の量が少なくなることがあります。湯温を安定させるための部品が水量を調節しているためです。
お湯が白く濁って見える	出湯直後にお湯が白く濁って見え、しばらくすると透明になることがあります。水圧が高いと水に溶け込んでいた空気が分離して、細かい気泡となって出てくる現象で無害なものです。 (減圧弁を使用すると少なくなります。お買いあげの販売店にご相談ください)
出湯量が少ない	混合水栓の種類により、出湯量が少なくなることがあります。混合水栓は逆止弁付で通水抵抗の小さいもの、また、シャワーヘッドは圧力損失の小さいものを使用してください。

■リモコンに関係すること

こんな現象のとき	現象の説明と対処方法
リモコンの表示が消える	節電のため、約5分間給湯運転または、リモコンスイッチ操作がおこなわれないとリモコンの表示部が消灯します。運転ランプのみ点灯して運転スイッチが「入」であることをお知らせします。 給湯運転または、リモコンスイッチ操作をおこなうとリモコンの表示部が点灯します。
5分以上給湯運転やスイッチを押さないのにリモコンの表示が消えない	給湯温度設定が60℃以上のときは、表示の消灯はしません。
給湯後「エラー4」または「エラーH8」を表示する	油切れになると給油しても、送油経路内にたまった空気のためバーナが着火せず、リモコンに「エラー4」または「エラーH8」を表示することがあります。このときは送油経路内の空気抜きをおこなってからリモコンの運転スイッチを入れ直してください。 空気抜きの方法は8ページの「給油」をお読みください。

このようときは

9.故障・異常の見分け方と処置方法〈故障・異常かなと思ったら〉

こんなときは故障ではありません

■機器全般に関係すること

こんな現象のとき	現象の説明と対処方法
運転中または出湯停止中にときどき「ジージー」という音がる	出湯時および再出湯時に湯温を安定させるための部品が作動している音です。
運転停止後、しばらく送風機の音がする	燃焼室内の排ガスを排出するための送風機が作動している音です。
バーナが断続的に運転する	給湯量が少ないと変動幅の小さい安定した湯温で給湯するために、マイコンの制御によりバーナが着火、消火を繰り返すことがあります。
排気口からの白煙(冬期)	冬期には排ガス中の水蒸気が水滴に変わるため、排気口(吹出口)から白煙となって出ることがあります。
過圧逃し弁からお湯(水)が出ることもある	給湯使用直後に、熱交換器配管内の上昇した圧力を逃すため、わずかな間お湯(水)が出るがあります。
試運転時に煙が出たり臭いがする	試運転時に機器の燃焼経路に付着した機械油が燃えるため、煙が出たり臭いがすることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。

■その他

こんな現象のとき	現象の説明と対処方法
浴そうや洗面台に青いものが付着する	水中に含まれる微量の銅イオンと湯あか(人の身体や石けんから出た脂肪分)が反応してできた「銅せっけん」が、青く見えるためです。銅せっけんは無害で健康上問題はありません。浴そうや洗面台をこまめに掃除することで付着しにくくなります。

9.故障・異常の見分け方と処置方法〈故障・異常かなと思ったら〉

- リモコンのエラー表示によって、故障原因を判断することができます。
- 販売店に連絡していただく際は、機器の型式、表示されているエラー表示の数字やアルファベットをお知らせください。
- 長い停電があった場合には運転ランプが点滅します。運転スイッチを入れ直すと再運転します。

エラー表示して全停止のとき

エラー

2

〔エラー表示例〕

表示	原因	処置方法
2	対震自動消火装置作動	地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、給排気筒のはずれなどの異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。
4	不着火 途中消火 フレームアイ断線検知	①油タンクの送油バルブの確認 ②油切れの確認 上記以外は販売店に連絡してください。
5	疑似火災、フレームアイ短絡検知	使用を中止して販売店に連絡してください。
6	給湯サーミスタ断線	
7	給湯サーミスタ短絡	
8	給湯異常停止サーモ作動	
A8	熱交出口サーミスタ断線	
A9	熱交出口サーミスタ短絡	
H	電磁ポンプ回路異常	
H5	温度ヒューズ断線、バーナサーモ作動	
H7	排気温度高温異常	
H8	排気サーミスタ断線	
H9	排気サーミスタ短絡	
J	送風機回転数異常	

LC 表示 経年劣化お知らせ機能について

- ・本製品は使用期間が15年相当を経過した後に、「LC」と「エラー表示」が交互に点滅する故障が発生した場合は、機器が全停止します。経年劣化による重大事故を防止するための機能です。
- ・お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口ご連絡し、点検・修理を受けてください。

エラー表示するが運転可能なとき

表示	原因	処置方法
E2	台所リモコン接続不良	このまま使用を続けると修理ができなくなりますので販売店に連絡してください。
9	給水サーミスタ断線	
20	データ未入力	
22	ミキシング弁異常	
A1	油温サーミスタ断線	
A2	油温サーミスタ短絡	
A3	凍結予防サーミスタ断線	
A4	凍結予防サーミスタ短絡	
L1	給湯温度高温異常	
1	給油検知作動 (別売部品のキュークケンチソウチOT-2取り付け時)	
88	点検時期お知らせ機能作動	27ページの「点検時期お知らせ表示」を参照して、法定点検（有料）を依頼してください。

上記以外のエラーを表示した場合は、使用を中止して販売店に連絡してください。

ご注意

- 上記エラーの発生時には、間隔をおいてお知らせします。

このようなききは

9.故障・異常の見分け方と処置方法〈故障・異常かなと思ったら〉

点検時期お知らせ表示

表示	原因	処置方法
88	点検時期お知らせ機能作動	10年相当ご使用されると、「点検時期お知らせ機能」がはたらいてお知らせを表示します。 機器は使用できますが、安全に使用していただくため、下記の連絡先にご連絡のうえ、お早めに法定点検(有料)を受けてください。 点検受付窓口 TEL：0120-665-785 受付時間：平日9：00～17：00 (土・日・祝日、夏季休暇、年末年始などの休日を除く)

お知らせ

- 点検後は1年相当の使用期間ごとに **88** を表示して、お知らせします。
安全に製品を使用していただくため、**88** を表示した場合は、法定点検に準じた点検(有料)を受けることをおすすめします。

■ **88** 表示の消灯方法

- 台所リモコンの  と  を同時に5秒押すと **88** 表示が消灯します。

10. 部品交換のしかた

- 部品交換は、お買いあげになった販売店に依頼してください。
- 修理を依頼する場合は、一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)などのいる販売店などに依頼してください。
- 部品交換は**純正部品**をご指定ください。

消耗・劣化しやすい部品(交換が必要な部品)

項 目	部 品 名
使用期間により交換が必要な部品	炎検知器(フレームアイ) パッキン類 (バーナ類など) } メンテナンス時に分解した リング } 場合は必ず交換が必要です。 (給湯配管など)
環境により劣化しやすい部品	給排気筒関係部品・各種制御基板・送風機・ゴム製送油管
変質・不純灯油の使用により劣化しやすい部品	バーナセット(比例弁ユニット・ノズル)・オイルフィルタ 炎検知器(フレームアイ)

11.仕様

型 式		FDS-SA472M (形式の呼び：UIB-SA472(M))	FDS-SA472FFK (形式の呼び：UIB-SA472(FFK))
種 類	給排気方式	屋外用開放形	屋内用密閉式強制給排気形
	燃 焼 方 式	圧力噴霧式	
	加 熱 形 態	瞬間形	
	給 水 方 式	水道直結式	
点 火 方 式		高電圧放電方式 (ポストイグニッション方式)	
使 用 燃 料		灯油 (JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量		52.84kW (5.13L/h)	
連 続 給 湯 効 率		88.0%	
モ ー ド 湯 効 率		87.7%	
連 続 給 湯 出 力		46.5kW	
熱 交 換 器 容 量		0.8L	
使用圧力(最高使用圧力)		1MPa	
伝 熱 面 積		1.1m ²	
外 形 寸 法		高さ 770mm 幅 540mm 奥行 210mm	高さ 790mm 幅 285mm 奥行 500mm
質 量		28kg	29kg
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	点火時	68/68W	
	燃焼時	95/95W	98/98W
待機時消費電力		0.6/0.6W	
給排気筒の型式の呼び		_____	QU8-3LP QU8-3SP
給排気筒の呼び径		_____	D80
給排気筒の壁貫通部の孔径		_____	φ 120mm
排 気 温 度		260℃以下	
騒 音 レ ベ ル		46dB	45dB (室内・正面)
電 流 ヒ ュ ー ズ		10A	
温 度 ヒ ュ ー ズ		184℃	
安 全 装 置		・対震自動消火装置 ・点火安全装置 ・停電安全装置 ・燃焼制御装置	
そ の 他 の 装 置		・送風機回転検知・異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・過圧逃し弁	
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> ・台所リモコン (FDS-SA472FFKは機器本体に取り付けられています) ・給水口保温材 ・出湯口保温材 ・リモコン取付板用木ねじ ・リモコン取付板用ねじ ・Y型端子 ・排水ホース ・取扱説明書 ・工事説明書 ・所有者票 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒防止金具小 ・取付ねじ、木ねじ (転倒防止金具小取付用) ・スリーブ、袋ナット (オイルフィルタに組付け) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム製送油管セット ・転倒防止金具大 ・取付ねじ、木ねじ (転倒防止金具大取付用) ・操作部シール板

11.仕様

型 式		FDS-SA382M (形式の呼び：UIB-SA382(M))
種 類	給排気方式	屋外用開放形
	燃 焼 方 式	圧力噴霧式
	加 熱 形 態	瞬間形
	給 水 方 式	水道直結式
点 火 方 式		高電圧放電方式 (ポストイグニッション方式)
使 用 燃 料		灯油 (JIS1号灯油)
燃 料 消 費 量		43.64kW (4.24L/h)
連 続 給 湯 効 率		88.0%
モ ー ド 湯 効 率		87.7%
連 続 給 湯 出 力		38.4kW
熱 交 換 器 容 量		0.8L
使用圧力(最高使用圧力)		1MPa
伝 熱 面 積		1.1m ²
外 形 寸 法		高さ 770mm 幅 540mm 奥行 210mm
質 量		28kg
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	点火時	68/68W
	燃焼時	82/82W
待機時消費電力		0.6/0.6W
排 気 温 度		260℃以下
騒 音 レ ベ ル		45dB
電 流 ヒ ュ ー ズ		10A
温 度 ヒ ュ ー ズ		184℃
安 全 装 置		・対震自動消火装置 ・点火安全装置 ・停電安全装置 ・燃焼制御装置
そ の 他 の 装 置		・送風機回転検知・異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ・過圧逃し弁
付 属 品	<ul style="list-style-type: none"> ・台所リモコン ・給水口保温材 ・出湯口保温材 ・リモコン取付板用木ねじ ・リモコン取付板用ねじ ・Y型端子 ・排水ホース ・取扱説明書 ・工事説明書 ・所有者票 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒防止金具小 ・取付ねじ、木ねじ (転倒防止金具小取付用) ・スリーブ、袋ナット (オイルフィルタに組付け) 	

12.アフターサービス

保証について

- この取扱説明書の最後に保証書がついています。
保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買いあげ日から1年間です。
- 次のような原因による故障および、事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。（詳しくは保証書をお読みください）
 - 変質灯油や不純灯油など、または灯油以外の燃料使用による故障や事故。
 - 誤った使用方法による故障や事故。
 - 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - 凍結による事故および破損。

修理を依頼されるとき

「故障・異常の見分け方と処置方法」(→23ページ)にしたがってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口(→34ページ)にご連絡ください。

- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - ①品名
 - ②型式の呼び
 - ③設置場所（屋内・屋外）
給排気方式（屋外用開放形・屋内用密閉式強制給排気形）
 - ④お買いあげ日
 - ⑤故障の状況（できるだけ具体的に）
 - ⑥ご住所・お名前・お電話番号
- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口(→34ページ)にお問い合わせください。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

■保証期間が過ぎているときは

- お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口(→34ページ)にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご希望により有料修理させていただきます。

■補修用性能部品について

- 石油給湯機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後7年です。

13 .据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身ではおこなわないでください。

据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談ください。また、「標準据付け例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられていることを確認してください。

試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をお読みになり、販売店または据付業者とご一緒に必ずおこなってください。

- 試運転終了後は、凍結予防のため〔凍結予防〕の項にしたがって処置してください。
- お客様がすぐにご使用にならない場合、長期間ご使用にならない場合は、〔凍結予防〕の項にしたがって必ず水抜きをおこなってください。（→17ページ）

—メモ—

メモ欄として活用してください。



その他

14. お客様ご相談窓口



お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。
電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号 365日24時間受付）

TEL フリーダイヤル  **0120-919-302**

携帯電話 ナビダイヤル  **0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ
<https://www.corona.co.jp/support/service/>



■365日24時間修理依頼ができます。
部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。
右記QRコードからアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。



公式オンラインストア

CORONA STORE

<https://ec.coronaweb.com/>

(コロナ公式ホームページからもアクセスできます)



その他

株式会社 **コロナ**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL(0256) 32-2111 <代表>
ホームページ <https://www.corona.co.jp/>

石油給湯機保証書

型式	コロナ石油小形給湯機 FDS-SA472M FDS-SA472FFK FDS-SA382M
★ お 客 様	お名前 様
	ご住所 〒 (-) 電話 () -

- 本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです
- お買いあげ日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことがございますので、ご了承ください。
- ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上
(★印欄に記入のない場合は、無効となります)、
本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日	年 月 日
保証対象部分	本 体
保証期間 (お買いあげ日より)	1 年

★ 販 売 店	住所・店名 電話 () -
------------------	-----------------------------------

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
《無料修理規定》をよくお読みください。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に依頼してください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
- ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買いあげ後の取付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水圧、異常水質（温泉水等）、指定外の使用電源（電圧、周波数）および燃料、給水の供給事情による故障および損傷
(ニ) 指定外の燃料、不純燃料の使用による故障および損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
(ヘ) 水垢もしくは凍結による故障および損傷
(ト) 当社製品の純正部品を使用しなかった場合の故障および損傷
(チ) 当社または、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷
(リ) 据付け工事の不備による故障および損傷
(ヌ) 本書の提示がない場合
(ル) 本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ヲ) 点検整備、および消耗品(ゴム製送油管、Oリング、各種パッキン類)の交換をされる場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買いあげの販売店または、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

製造元 **株式会社 JOT**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL (0256) 32-2111